

# 春秋座・studio21

組織概要 ORGANIZATION

研究活動 OPEN LAB

人材育成 THEATER x STUDENTS

チケット TICKET

アクセス ACCESS

お問い合わせ CONTACT

## 京都芸術劇場

Kyoto Art Theater

京都芸術劇場(春秋座・studio21)は、2001年に京都芸術大学(旧名称 京都造形芸術大学)内に開設された、わが国の高等教育機関ではじめて実現した大学運営による本格的な劇場です。伝統芸能を新世紀へと受け継ぐことはもとより、新たな創作活動を通じてさらなる表現の可能性を追求する実験と冒険の場でもあります。主に歌舞伎の上演を想定してつくられた大劇場=春秋座と、主に現代演劇・ダンスの上演を想定してつくられた小劇場=studio21という、まったくタイプの異なる二つの空間から成り立っており、伝統芸能から実験的なパフォーマンスまで、現代の多様な舞台芸術(=performing arts)を幅広くカバーできる施設を誇っています。



撮影：清水俊洋

## 舞台芸術研究センター

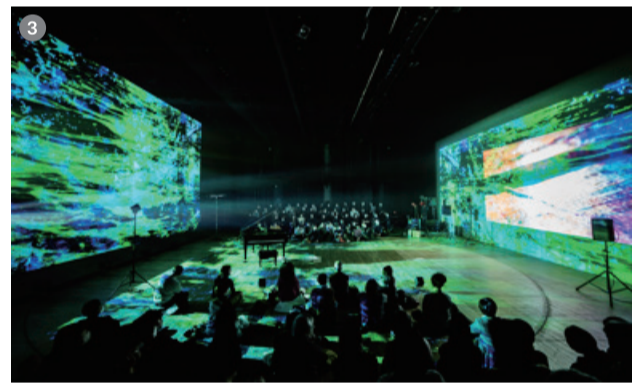
Kyoto Performing Arts Center

舞台芸術研究センターは、舞台芸術の創造過程の総体を研究対象として、乖離しがちであった「創造の現場」と「学術研究」とのより有機的な結びつきを図るべく、2001年4月に発足しました。春秋座・studio21を活用し、学内外の研究員による上演・研究活動の推進、内外の研究者や研究機関あるいは舞台芸術創造拠点との協同など、舞台創造の現場と密接に連携した研究・創造のネットワーク作りを目指しています。

## 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点

The Interdisciplinary Research Center for Performing Arts at Kyoto University of the Arts

舞台芸術研究センターが母体となり、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定を受けて2013年度に設置された研究拠点です。アーティストと研究者とが共同でプロジェクトを立ち上げ、「京都芸術劇場を活用した研究」という独自の研究手法を通して、舞台芸術の創造と受容に関するさまざまなテーマに基づく先端的な研究活動を行っています。



## 研究公募

創造と研究の連携を通じ舞台芸術の新たなヴィジョン(可能性)を構想する、意欲的な研究をサポートし、幅広いジャンルにかかわる領域横断的・実験的な試みを公募し、優れた舞台作品の創造をめざして、多種多様な「劇場実験型」「リサーチ支援型」の実践的な研究プロジェクトを支援しています。

### 2023年度共同研究事業

〔劇場実験型〕

- テーマ研究Ⅰ | 舞台芸術を用いた〈他者〉との対話の場の構築と継続  
— 旧真田山陸軍墓地を巡る二つの創作を通して | 研究代表者：岡田露子
- テーマ研究Ⅱ | 次世代舞台音響「イマージブオーディオ」の可能性について | 研究代表者：大久保歩
- 公募研究Ⅰ | 蘇るパレエ・リュス：薄井憲二パレエ・コレクションの同時代的/創造的探究  
研究代表者：関典子

〔リサーチ支援型〕

- リサーチ支援型Ⅰ | 「hysteria」プロジェクト—〈女性〉の身体への眼差しを転じる  
リサーチ・ダンスの試み | 研究代表者：松本奈々子
- リサーチ支援型Ⅱ | アピア演出「オルフェオとエウリディーチェ」(1913)をモデリングする  
研究代表者：横田宇雄
- リサーチ支援型Ⅲ | 環境配慮型の舞台芸術創作のための、国内の舞台芸術と環境についての基礎調査及び英国他ヨーロッパのサステイナブルプロダクションの実例調査 | 研究代表者：大島広子

- 2021年度 劇場実験型公募 | GEIST—「多様な音響空間」の実現に向けた自動演奏楽器、入出力装置、および作曲・演奏法の開発  
撮影：井上嘉和
- 2022年度 劇場実験型公募 | アフォーダンス・コログラフィ 誘導の振付 | 撮影：井上嘉和
- 2022年度 劇場実験型公募(延期実施) | 多層化手法による音楽詩劇の創作と上演—アコースモウムを中心とした音楽と映像、言葉の融合— | 撮影：井上嘉和
- 2022年度 テーマ研究 | 老いを巡るダンスドラマツルギー、学内会場(千秋堂)での集中研究会の様子

京都芸術劇場では2001年の開場以来、瓜生山学園の学生が公演グッズや宣伝美術のデザインから公演運営まで重要な場面で活躍。未来の舞台芸術界を支える人材育成に貢献しています。



● フロントスタッフ | 撮影：瀬戸山仁琴 ● 舞台スタッフ ● 舞台芸術学科卒業制作公演「メディア」

## 会員制度 | MEMBERSHIP

特典付きのお得な会員制度、京都芸術劇場友の会会員募集中! いつでもご入会いただけます。詳細は京都芸術劇場ウェブサイトをご覧ください。

- 1—— チケット優先予約\*
- 2—— チケット割引販売\*
- 3—— 公演情報等のご送付 \*公演により異なります

年会費 2,000円(税込) | 有効期限 入金日より1年間

## チケット | TICKET

WEB オンラインチケットストア | <https://k-pac.org/ticket/> (24時間) | 要会員登録(無料)

窓口 京都芸術大学・人間館1F 京都芸術劇場チケットセンター窓口(平日10時-17時)

電話 京都芸術劇場チケットセンター | 075-791-8240 (平日10時-17時\*臨時休業日を除く)

- 車椅子をご利用のお客様・足のご不自由なお客様は、お電話にてお問い合わせの上、お申込みください。劇場2階席へのご移動は階段のみとなっております。
- バリアフリー対応 | 車椅子スペース、ヒアリングループ、多目的トイレ、スロープ、手すり、点字ブロック

## バス

- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」から京都市バス5号系統「岩倉」行きに乗車「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(京都駅から約50分、「三条」・「京阪河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路駅バスターミナル)から京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(約15分)
- 京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え「茶山・京都芸術大学」駅下車 徒歩約10分
- JR「京都」駅から約30分
- 地下鉄「今出川」駅から約15分(「京都」-「今出川」は地下鉄で約10分)

TEL 京都芸術劇場チケットセンター：075-791-8240  
京都芸術大学舞台芸術研究センター：075-791-9207

URL <https://k-pac.org/>

SNS @kyoto.art.theater  
 @KyotoArtTheater  
 @kyoto\_art\_theater



## 公演プログラム | PROGRAM LINEUP

伝統芸能から現代演劇、コンサートなど舞台芸術の魅力と普及する多様な公演をお届けします。



劇場最新情報

- A 実験と冒険シリーズ**  
国内外の先駆的な作品を紹介します
- B 学ぶ劇場シリーズ**  
劇場に「観る・聴く・知る」学びの場を創り出します
- C 創造する伝統シリーズ**  
伝統芸能の多面的な魅力を届け、次世代につないでいきます
- D スペシャルフィーチャー**  
舞台芸術の魅力あふれる今年度とっておきの公演をご紹介します

**5月 12[金] 立川志の輔 独演会** **B 1**  
13[土]  
14[日]  
15年目を迎える毎年恒例の名物公演。古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込み、唯一無二、魅力満載の“志の輔らくご”。今年は春秋座でどんな噺(はなし)が出るのか。心に響く笑いと感動たっぷりの落語を超えた落語をご堪能ください。



**26[金] インバル・ピント『リビングルーム』** **A 2**  
27[土]  
現実はいつだって予測不能。どんなに思い描いても、未来はせつせと書き換わり、世界は勝手に動きだす——そんなヘンテコな宇宙の物語。世界的に人気のイスラエルの振付家インバル・ピントの最新作が春秋座に登場！羽のように軽やかに繊細なダンス、胸がキュンとなる特別なステージが開幕します。

**7月 8[土] 『ヴィクトリア』** **D 3**  
9[日]  
大竹しのぶ主演、藤田俊太郎演出！ミュージカルからストレートプレイまで多彩な作品の演出で、数々の演劇賞を受賞している演出家と、日本演劇界屈指の実力俳優の注目の顔合わせで描く一人芝居。映画監督イングマル・ベルイマン作『ヴィクトリア』を上演します。

**15[土] 鼓童「いのちもやして」** **B 4**  
16[日]  
太鼓を打つことに人生をかけた若者たちが、ひたすらに「音」を研ぎ澄ましていく。佐渡という地でいのちもやして太鼓に向かい合う、その一打一打より奏でられる太鼓の響きをお楽しみください。世界的に活躍する太鼓芸能集団「鼓童」最新作！



**23[日] 中川晃教&京フィル ブリリアントコンサート** **D 5**  
ミュージカル界トップを走る中川晃教と京都フィルハーモニー室内合奏団が珠玉のナンバーをお届けします。予定楽曲：僕こそミュージック(モーツァルト!)、君の瞳に恋してる(ジャージー・ボーイズ)、チェーザレ(チェーザレ)、偉大な生命創造の歴史が始まる(フランケンシュタイン)ほか

**9月 23[土] 猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界 第八回フォーラム** **C 6**  
京都芸術大学副学長を務め、春秋座初代芸術監督でもあった三代目市川猿之助(現・市川猿翁)から寄贈された資料をもとに、氏の軌跡を振り返ります。  
企画 田口章子(京都芸術大学教授)

**29[金] 橘蓮ニプロデュース「春風亭一之輔×桂二葉」** **B 7 8**  
人気、実力共に落語界を牽引するトップランナー春風亭一之輔と「2021年 NHK新人落語大賞」を満票で受賞し、現在最も注目を集める桂二葉による初の京都公演。春秋座初登場となる二人からどんな噺が飛び出すのか、乞うご期待。

**10月 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023** **A**  
毎年国内外の実験的で多様な作品やアーティストを紹介してきた国際舞台芸術祭。「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な表現についての思考と対話の場となるジャンルを越境した舞台作品を展開します。  
主催 京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)]

**11月 4[土] 木ノ下歌舞伎『勸進帳』** **B 9**  
5[日]  
「義経一行の関所越えを描いた忠義の物語」とされる歌舞伎演目「勸進帳」を現代社会を取り巻くあらゆる(境界線)が交錯する、多層的なドラマへと再構築したキノカブ版『勸進帳』。現代演劇の手法で古典の可能性を探る木ノ下歌舞伎の代表作を、満を持して再上演！



**12月 9[土] 杉原邦生×倉持裕「新作」** **A 10 11**  
10[日]  
ドラマ・映画などへの活躍の幅を広げ続ける劇作家・演出家の倉持裕。小劇場から歌舞伎まで引きも切らない活躍の演出家、杉原邦生。注目の初タッグによる青春群像劇！不可思議な魅力あふれる倉持ワールドを杉原がダイナミックな演出で大空間を彩ります。



**1月 28[日] 演じる高校生** **C 12**  
毎年秋に開催される高校演劇コンクール近畿大会の優秀校2校を春秋座に招待し、本格的な舞台で作品を上演する企画。こけら落とし以来続く本公演も今年で23回目。恒例のアフタートーク、高校生向けのワークショップも乞うご期待！



**2月 3[土] 春秋座一能と狂言** **B 13**  
歌舞伎劇場の空間で、花道を橋掛かりにみたく、伝統的な能・狂言をお楽しみいただく(劇場能)。その世界を開拓する15回目のシリーズ公演は、能「卒都婆小町」・狂言「隠狸」を、観世鏡之丞、野村万作、野村萬斎をはじめ、豪華出演陣で上演します。

**市川猿之助 春秋座芸術監督プログラム** **B 14**  
四代目市川猿之助芸術監督による、他では観られない春秋座ならではのプログラム。詳細は決まり次第、ウェブサイトなどでお知らせします。  
左：春秋座芸術監督プログラムイメージキャラクター「このすけ」

## 教育普及プログラム | LECTURE&WORKSHOP

制作や作品理解を深めるためのトークやワークショップ、アーカイブやオンラインの活用、刊行誌の発行など、より多くの方々との創造の場を共有していきます。

**公開講座 日本芸能史「日本芸能の中の海外性と国内性」** **C 15**

- 前期/後期(各14回月曜)| 2023年4月17日-7月17日/9月25日-2024年1月15日
- 企画・コーディネーター 田口章子(京都芸術大学教授)
- 講師(開催講義順)  
諏訪春雄/奥村旭翠/馬場あき子/大倉源次郎/秋辺日出男/桂吉坊/片岡真実/山村友五郎/森川裕之/天野文雄/榛名由梨/玉岡かおる/田口章子/小林泰三/池坊専好/常磐津都崑蔵・常磐津都史/井上裕久/山田せつ子/金城真次/井上八千代/森脇清隆/鶴澤津賀寿・竹本京之助/木ノ下裕一/茂山忠三郎/壬生大念佛講/東儀秀樹

**公開オンライン講座 少しでも深く読み解く「詩劇としての能」03—『融』のすべて** **C**

- 春期|全5回(水曜)| 2023年4月19日-6月14日| ゲスト: 大槻文藏
- 秋期|開催予定(全5回)
- 講師——天野文雄(大阪大学名誉教授/能楽研究)

**公開講座 伝統文化論—作者から見る江戸時代の演劇—創作の秘訣** **C**

- 全7回(火曜)| 2023年11月21日-2024年1月16日
- 講師——木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)、[聞き手]田口章子(京都芸術大学教授)
- 場所——一般教室(本学授業を一般公開するものです)

**映像上映・トーク 太陽劇団アリアーヌ・ムニューシュキントークイベント** **C 16**

10月29日(日)開催 半世紀以上にわたり現代演劇の第一線で活躍し続ける演出家ムニューシュキンによる、自身の活動の軌跡と、(日本)をテーマに制作された新作を巡るトークイベント。太陽劇団の貴重な舞台映像上映も同時開催。  
\*新作『金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima』上演(11月/ロームシアター京都)関連イベント|  
主催 京都芸術大学舞台芸術研究センター、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)| 特別協賛 公益財団法人稲盛財団



**ワークショップ 京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2023**

国際的に活躍するダンサーや振付家を講師に招き、幅広いレベルを対象に、コンテンポラリーダンスにおける重要な技術を体験するワークショップシリーズ。  
期間 2023年7月下旬-8月上旬  
会場 春秋座(8月のみ)ほか、京都市内各地 | 主催 Dance&Environment

**公演関連 トーク・ワークショップ** 鑑賞者と作家/作品を多角的につなぐ公演関連企画を実施し、アーティスト/クリエイターの発想力や制作の背景やプロセスに触れる機会を提供します。

**[出版]舞台芸術 研究センター 機関誌「舞台芸術」** 2002年創刊。主催公演・研究活動の報告や、そのプロセスを公開するほか、国内外のパフォーミング・アーツを今日的視点で切り取り、その可能性について考察しています。  
最新号『芸術を誰が支えるのか—アメリカ文化政策の生態系』(『舞台芸術』特別号 2023年3月発行/橋本裕介編著+京都芸術大学舞台芸術研究センター編)



● 撮影 橘蓮二 ● ©Edouard Serra - Prisma Festival 2022, Panama ● 宣伝美術 服部浩臣 (COM Works) | 写真 岡本隆史 ● ● 撮影 橘蓮二 ● 撮影 井上嘉和 ● 撮影 細野晋司 ● 滝川第二高等学校(兵庫)「リセマ達」 | 撮影 瀬戸山仁琴(京都芸術大学美術工芸学科) ● 2023年2月「春秋座一能と狂言」能「岡田川」 | 撮影 井上嘉和 ● 2021年12月日本芸能史「義大夫」 | ● ©Archives Théâtre du Soleil

2023

2024